

【照会先】健康局結核感染症課エイズ対策推進室 室長補佐 原澤 (2354)  
エイズ医療・調査係 宮本・篠原 (2358)  
(代表番号) 03-5253-1111

世界エイズデーに向けた普及啓発イベントを実施します

厚生労働省は、12 月 1 日の世界エイズデーに向け、公益財団法人エイズ予防財団やエイズ関連 NGO 等の関係団体の協力を得て、普及啓発イベントを実施します。

また、各都道府県、保健所を設置する市及び特別区においては、関係機関等と連携し、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開します。

### 世界エイズデーイベント RED RIBBON LIVE 2018 ～平成が終わる前に「贈る言葉」～の実施について

#### 1 開催日時

平成 30 年 11 月 29 日 (木) 開場 18:00 開演 18:30～21:15 (予定)

#### 2 開催場所

マイナビ BLITZ 赤坂 (東京都港区赤坂 5-3-2 赤坂サカス内)

#### 3 出演者

蒼井そら、市川美織、今村頭史、岩本愛吉、押尾コータロー、海援隊、こにわ、紗倉まな、関取花、はなわ、隼斗、ビッケブランカ、ペンギンズ、ホリ、ゆっぺい、若旦那などの賛同者が多数参加  
(50 音順) ※随時、告知サイトにて出演者情報を更新予定

#### 4 実施内容

ラジオ DJ 山本シュウ (レモンさん) の呼び掛けに賛同したアーティスト、タレントたちがマイナビ BLITZ 赤坂に集結。トークとライブにより、イベントを通じて幅広い世代の人々に予防啓発のメッセージを発信

(1) 山本シュウを司会として、タレントなどによる HIV/AIDS に関するトーク

(2) アーティストによるライブ

(3) イベントの様様をインターネット (ニコニコ動画等) により生中継 (予定)。後日、一部動画をアーカイブ配信 (予定)。 ※告知サイトに生中継、配信を行うサイトのリンクを掲載

#### 5 参加費

無料 (抽選による招待制)

#### 6 参加方法

募集期間 11 月 1 日 (木) 21:30 ～ 11 月 18 日 (日) 23:59

抽選で 500 名を招待

告知サイト 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト <http://redribbonlive.net/>

#### 7 総合プロデュース・司会

山本シュウ

#### 8 主催

厚生労働省

### 街頭キャンペーンの実施について

#### 1 日時

平成 30 年 12 月 9 日 (日) 13:30～15:30 (予定)

※荒天時は中止する場合あり。

#### 2 場所

渋谷駅 ハチ公前周辺

#### 3 参加団体

厚生労働省、公益財団法人エイズ予防財団、東京都、渋谷区、民間企業、ボランティア等

(予定)

#### 4 実施内容

公益財団法人エイズ予防財団作成のリーフレット、コンドーム、検査チラシ等をセットにして配布。  
HIV/エイズに関する正しい知識を啓発し、HIV 検査の受検を促進する。

#### HIV 無料検査の実施について

- 1 日時 平成 30 年 12 月 9 日 (日) 10:30~18:00 (受付 10:30~12:00、14:00~15:30) (予定)  
※検査は事前予約優先とし、先着 100 名までとします。
- 2 場所 シブヤ・ネクサス  
東京都渋谷区道玄坂 2-9-9 梅原ビル 6 階 JR 渋谷駅ハチ公口徒歩 2 分
- 3 検査主体 公益財団法人エイズ予防財団、特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、  
渋谷区保健所 (共催)
- 4 検査の種類 即日検査 (検査結果は当日お知らせします。)
- 5 予約方法 事前予約制  
携帯サイト予約又は電話予約が必要となります。

<携帯サイト予約> 受付期間: 11 月 12 日 (月) 0 時 0 分から 12 月 8 日 (土) 23 時 59 分まで

URL: <http://www.npo-jhc.com/shibuya-kensa/>

<電話予約> 受付期間: 11 月 16 日 (金)、11 月 30 日 (金)、12 月 7 日 (金) 12 時~18 時  
電話番号: 03-5259-0255 ※当日、予約枠に空きがある場合、会場でも受付可能です。

<https://www.sankei.com/life/news/181105/lif1811050038-n1.html>

BCG のヒ素検出問題、経緯や安全性を報告

2018.11.5 20:32 産経新聞

子供の結核を予防する BCG ワクチンを溶かす生理食塩液から微量のヒ素が検出された問題で厚生労働省は 5 日、発生の経緯や、接種しても安全性に問題ないとする評価結果を専門調査会に報告した。

国立医薬品食品衛生研究所による評価結果によると、0.15 ミリリットルの食塩液から検出されたヒ素の量は最大 39 ナノグラム (ナノは 10 億分の 1) で、毎日、一生注射したと仮定しても問題ないとされる許容量の数十分の 1 だった。そのため乳児が 1 回接種しても、安全性に問題はないと結論づけた。

BCG ワクチンは、国内では日本ビーシージー製造 (東京) のみが作っており代替品はない。8 月 9 日に厚生労働省が問題を把握した後、同社はワクチンの出荷を停止している。ヒ素混入の原因となった食塩液のガラス製の容器を別の製品に取り換え、11 月中旬にも出荷を再開する予定。

<http://www.nms.ac.jp/hosp/news/10723.html>

平成 30 年 11 月 12 日

関係者各位

日本医科大学付属病院

日本医科大学付属病院 医師からの肺結核発症について (第 3 報)

この度、当院所属の耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師が、肺結核に罹患していたことにつきましては、7 月 19 日、8 月 2 日付けで当院ホームページや院内掲示等でお知らせをいたしました。その後の調査結果と当院の対応についてご報告いたします。

当該医師の診療状況等を調査し、複数保健所を含む関係機関とも協議のうえ、第一次接触者健診の対象となる患者様を決定し、対象となる患者様に対し 2018 年 8 月より患者説明会と健診を実施いたしました。この検査の結果では、11 人の方が IGRA 検査陽性と判定されました。

IGRA 検査は、①活動性結核と潜在性結核感染症 (感染のみで発病していない状態) を区別することができず、②陽性を示した場合でも感染時期を判定することができない検査です。IGRA 検査結果が陽性の方は、本事象とは無関係に感染している可能性もありますが、これらの方に対しては個別に二次健診を行い、これらの方を含め、患者様の中に発病者がいないことを確認いたしました。IGRA 検査結果が陽性の方は、症状がな

く他人に感染させることはありませんが、今後、検査結果を踏まえ、結核の発病を予防する治療等を実施してまいります。

また、当該医師との最濃厚接触職員 75 名を含む全職員 2,099 人に対する健診の結果も判明し、発病者がいないことを確認いたしました。対象となった患者様や関係者をはじめ、皆様には、ご心配とご迷惑をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。これまでにも、当院で定期健康診断を受けた場合には、その結果を職員に配布する際、判定内容に応じて再検査・精密検査・医療機関の受診等を行うよう指示しておりました。しかし、本事象を踏まえて、今後は産業医による健康チェックをより徹底し、他病院で健康診断を受診された場合を含めて可及的により多くの職員の健康状態を把握して参ります。

今後、本事象に関連する情報は、適宜、当院ホームページ及び院内掲示にてお知らせいたします。

記

#### ■これまでの対応と今後の対応

##### 1. 第一次接触者（患者様・職員）健診の実施

###### (ア) 健診対象者

- 健診対象の期間（2016年1月18日～2018年7月9日）
- 濃厚接触患者とハイリスク接触者：374名
- 最濃厚接触職員：75名
- 健診方法
- ・血液検査（結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能：IGRA）または胸部 X 線検査、ツベルクリン反応検査（小児）

###### (イ) 健診施行期間

- 2018年7月25日から2018年12月（予定）

###### (ウ) 結果

- 患者様、職員に発病者なし。
  - 結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能（IGRA）検査陽性（2018年11月12日現在）：11名
  - IGRA 検査陽性患者様については、個別に二次健診・治療等を行っております。
  - 初回 IGRA 検査陰性の患者様については、IGRA 陽性化する期間が2～3か月間かかる（ウィンドウ期
- ※）ことを勧告し、10月から12月の間に再検査いただくようご案内いたしました